

たかもり

2001
4
APRIL No.500

黒い山々、新緑を待つ



野焼きシーズンの終わった阿蘇の山々は、真っ黒。これからいよいよ春本番となります。草木はもちろん、人々も外での活動開始です。

花見が終われば、ゼンマイ、ワラビ、ウド、ダラの芽等、山を駆けめぐれば最高の贈り物があります。思い存分阿蘇の大地を散策してみませんか。



町民憲章

1. 水と緑と土のにおい、いっぱいに住みよい町にします。
2. 伝統を重んじ、文化の薫る潤いのある町にします。
3. 老人を大切にし、子どもの夢を育て幸せな町にします。
4. 勤労を尊び、産業を振興し活力のある町にします。
5. スポーツに親しみ、心身をきたえ健全な町にします。



草南みどりの少年団

木版画カレンダー作成



今年のテーマは「草部の生き物」

草部南部小学校（星子博子校長）では毎年、手作りの木版画カレンダーを作成しています。今年も3年生から6年生までの26名（緑の少年団）が1月から約二ヶ月間かけ作成しました。

今年のテーマは『草部の生き物』。キジやヤマセミ、スズムシやトンボ、シカ、キツネなど草部の自然が楽しめるカレンダーが出来上がりました。

2月19日には保護者と先生、児童が協力し、一枚一枚でいねいに刷り上げたカレンダーが体育館いっぱいになりました。

今年は130部を作成し、2月28日には完成したカレンダーを、一人暮らしの校区のお年寄り35名のお宅や、郵便局・役場などに緑の少年団が中心になり全児童で配布しました。お年寄り等は毎年このカレンダーを楽しみにされているようです。



昭和61年度の木版画カレンダーを探しています

草部南部小学校の木版画カレンダー作りは昭和58年の「緑の少年団」結成から続く恒例の行事です。学校には、これまでの作品を保存展示していますが、残念ながら昭和61年度の作品だけが残っていません。皆さまの中で昭和61年度の作品をお持ちの方は是非学校までご連絡ください。（コピーさせてください。）

■連絡先 草部南部小学校 TEL09676-4-0058



R100

森林資源保護・自然保護のため、本誌は再生紙を使用しています。

赤ちゃんたんじょう



増永慎乃介ちゃん (森) 1.24生	男	父 善久 母 友子
中川 風花ちゃん (上在) 1.30生	女	父 武子 母 孝彦
春日 拓樹ちゃん (旭通) 2.13生	男	父 輝彦 母 瑞穂
安方 礼生ちゃん (中園) 2.13生	男	父 広信 母 小百合

3月号の赤ちゃんたんじょうに誤りがありました。お詫びして下記のとおり訂正します。

二村 果凛ちゃん (前原) 1.14生	女	父 章太郎 母 武子
松岡 美結ちゃん (大村) 1.17生	女	父 浩吉 母 明美

すえながくお幸せに



飯干健一 (牛嶋) さとみ	熊本市 高森・旭通	2.21
工藤栄輝 (田頭) 景子	中・峰の宿 西合志町	2.25
田代友和 (益田) 樹理	高森・旭通 大矢野町	2.26

おくやみもうしあげます



住所	御遺族続柄	死亡者	年齢
岩神	甲斐幸子	甲斐健一	78
冬野	今村克彦	今村俊男	91
牧戸	瀬井ムツエ	瀬井六男	69

人口の動き

(2月末日現在)	
世帯数	2,605(-1)
男	3,753(0)
女	4,037(-2)
総数	7,790(-2)

善意の灯

ありがとうございました (敬称略)

■町社会福祉協議会へ
(香典返し) 窪井富義 井上一太 瀬井民男 徳丸光法

■広報送料寄付
小谷征代 (東京都武蔵野市)
甲斐文隆 (埼玉県戸田市)
後藤武士 (大阪府富田林市)
窪井富義 (長崎県早坂町)
二子石哲夫 (福岡市西区)
後藤日出幸 (青森県下田町)

お知らせのページ

■法律相談(無料)
本町出身の弁護士、津留清さんによる無料法律相談が行われます。
■とき 五月二十六日(土)
午後一時から三時まで
■ところ 高森町中央公民館

町の移動図書

五月八日(火)	草部出張所	10時~11時半
J A 草北	11時~12時半	
野尻出張所	13時~14時半	
J A 河原	14時~15時半	
五月九日(水)	J A 旧色見支所	10時~11時半
色見郵便局前	11時~12時半	
横町 A 団地	13時~14時半	
下町公民館	14時~15時半	

年金相談



国民年金、厚生年金、社会保険についての相談や申請受付を行います。お気軽にこ来場ください。
■とき 四月二十七日(金)
午前十時から午後三時まで
■ところ 林業総合センター 林業相談室



心配ごと相談

何か福祉に関することで心配ごとはありませんか？
高森町社会福祉協議会では次のとおり心配ごと相談所を開設いたします。心配ごと相談員が相談をお受けします。お気軽にご相談下さい。

■草部地区	■とき 四月二十日(金)
■ところ 役場草部出張所	午前十時から午後三時まで
■野尻地区	■とき 四月二十七日(金)
■ところ 役場草部出張所	午前十時から午後三時まで
■高森・色見地区	■とき 五月一日(火)
■ところ 高森町芙蓉館	午前十時から午後三時まで

休日在宅医

4月8日	寺崎医院	午後5時まで
4月15日	南郷谷整形外科	
4月22日	渡辺内科	
4月29日	後藤医院	
4月30日	立野病院	
5月3日	南阿蘇クリニック	
5月4日	藤本医院	
5月5日	平田医院	
5月6日	馬原内科医院	
5月13日	立野病院	

*都合により変更になる場合があります。阿蘇広域行政事務組合消防本部
テレホンサービスでお確かめください。電話 0967-34-0099

Editorial



編集後記

この時期は新社会人が夢と希望を抱きながら社会に飛び込む季節です。大いに期待しながらもその期待が重みにならないように育てていきたいものです。
さて、広報たかもりも五月〇号、私の編集後記もいよいよ最後、丸四年担当しながらも上達しない広報で皆さまにはご迷惑をおかけしました。この貴重な経験を今後、活かしていきたいと思っております。皆さま、感謝申し上げます。読者の皆さま、同じ係の岩下徹君が担当いたします。よろしくお願いたします。
田浩



会場は大賑わい



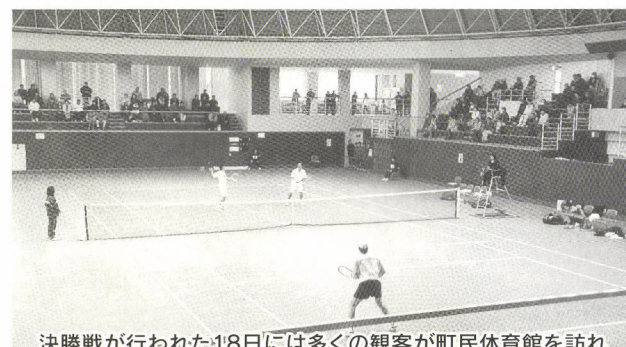
見事決まりました。子ども風鎮太鼓



会場を沸かせた高森にわか

たかもりの味にぞ満悦！
たくさんのお店で 地元も盛り上がる！

毎年、好評の「新酒とふるさとの味まつり」は今年で十三回目。三月十一日、駅前広場には、穏やかな絶好のまつり日和に誘われ、レールバスやマイカーで、約四千五百人もの方々が訪れ、開会の正午には、会場は長蛇の列。この催しは地酒の新酒時期に合わせ、色々な高森の味を楽しんでもらおうと町観光協会が主催しているものです。今年も地元からたくさんのお店協力があり、場内は大賑わいでした。
福岡や熊本市方面からのお客様も多く、「今年も来ました。」との常連客も。今年は、オープニングのイベント列車をはじめ六会場での「夜なべ暖簾」と充実しており、このまつりも県内外問わず知れ渡るようになりました。皆さんの感想は、「おいしい郷土料理と新酒を思う存分安価で楽しめ満足です。」などの声が聞かれました。



決勝戦が行われた18日には多くの観客が町民体育館を訪れ熱心に観戦しました。



個人戦優勝のアレキサンダー選手には、謄写版印刷の黒船工房代表佐藤勝英さん(冬野)作の浮世絵が贈られました。

一流のプレーを一目見ようと多くの観戦者
本町で国際テニス連盟公認の公式戦



国際テニス連盟公認の国際男子テニス大会「熊本フューチャーズイン阿蘇2001高森オープン」が三月十日から十八日までの九日間、町民体育館と休暇村南阿蘇テニスコートで開催されました。主催は熊本県テニス協会等、特別協賛にNTT西日本等。
日本ランキング三位で昨年のこの大会での優勝者寺地貴弘選手をはじめ、上位ランキング者や予選を勝ち抜き進出した選手、世界ランキングの

二桁台を目指す外国人選手等が賞金総額一万ドルとポイント獲得を目指し熱戦を展開。熊本県出身で一昨年の国体で活躍した宮崎靖雄さん(現亜細亜大生)も本戦二回戦へ進出。また、昨年の大会でも活躍した岩見選手がオーストリアのアレキサンダー選手と決勝戦で戦うなど熱戦が展開され、一流のプレーを一目見ようと訪れた観客はボールの早さやプレーの正確さ等に驚いていました。

「ひのくに新世紀総体」
総合開会式一般観覧者募集

八月一日に開催される「ひのくに新世紀総体」総合開会式の一般観覧者を募集します。
■募集人員 一万二千人
■入場料 無料
■募集期間 四月十六日(月)～五月三十一日(木)
■問い合わせ
平成十三年全国高等学校総合体育大会熊本県実行委員会事務局
TEL 096 (383) 1111
(内線6795)

労働保険の年度更新は
お早めに!

平成十三年労働保険料の申告・納付は、四月一日から五月三十一日までとなっています。

労働保険は農林水産事業の一部を除き、一人でも労働者を雇用されまると強制適用となっています。

加入手続きがお済みでない場合も速やかに手続きをしてください。

熊本労働局労働保険徴収室
TEL 096 (211) 1702

青年海外協力隊員募集

青年海外協力隊員は国際協力事業団が実施している国の事業です。開発途上国の人々の新しい国づくりのためにあなたの可能性を試してみませんか?

国際協力事業団では平成十三年度春の募集として、農林水産から教育、スポーツなど約百四十職種にわたる約八百名を募集しています。満二十歳以上満三十九歳までの日本国籍を持つ方なら誰でも応募できます。

派遣国約六十カ国。(アジア、アフリカ、中南米、中近東、大洋州、東欧) 派遣期間は二年間。

なお、募集説明会が四月十三日(金)、五月十六日(水)に熊本市産業文化会館で実施されます。時間は午後六時三十分からとなっています。

詳しくは
熊本県環境生活部
国際課国際協力班

TEL 096 (387) 1111
(内線3190)

阿蘇地域県政モニター募集

県では県政モニター制度にかえ、各地域における県政の課題等についてご意見、ご提案をいただくため、「阿蘇地域県政モニター制度」を新たに設置します。

■主な仕事 年数回の会議に出席し、地域の問題や課題などについてご意見・ご提案をいただきます。平成十三年度は「町村合併」を中心に意見交換等を実施予定。

■応募資格 二十歳以上(平成十三年四月一日現在)で阿蘇地域にお住まいの方。ただし、常勤の公務員や議会議員の方などは応募できません。

■選考結果 五月中に応募者全員に通知します。

■募集人員 十二名程度

■応募方法 応募理由を四百字詰め原稿用紙一枚以内に記入のうえ、住所・氏名・年齢・職業及び電話番号を明記し、郵送してください。

■締め切り 平成十三年四月二十七日(金)(当日消印有効)
■宛先・問い合わせは先
〒869・2612

阿蘇郡一の宮町宮地2402
阿蘇地域振興局振興調整室内
「阿蘇地域県政モニター募集」係
TEL 0967 (22) 1111
(内線391)

国家公務員採用試験

国家公務員の採用試験の受験者を次のとおり募集しています。

☆Ⅰ種試験

【受験資格】 昭和四十四年四月二日(昭和五十五年四月一日生まれの者(特例あり))
【申込み受付期間】
郵送 四月三日(火)
持参 五月十日(木)

【第一次試験日】
五月十日(火)

【第二次試験日】
六月十日(日)

☆Ⅱ種試験

【受験資格】 昭和四十七年四月二日(昭和五十五年四月一日生まれの者(特例あり))
【申込み受付期間】
郵送 四月三日(火)
持参 五月十日(木)

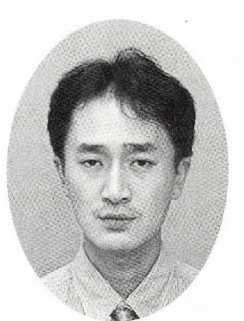
【第一次試験日】
五月十日(木)

【第二次試験日】
五月十日(木)

【問い合わせ先】
人事院九州事務局
採用試験テレホンサービス
TEL 092 (431) 8173

はじめまして

熊本日日新聞社
高森支局長 小山 正史



去る三月一日付の異動で高森支局に赴任しました。よろしくお願いたします。入社して十年ですが、異動までの六年間は、本社の写真部という部署に在籍していました。その名の通り、写真を撮るのが主な仕事。事件や事故はもちろん、祭り、動植物、料理、スポーツなど対象は幅広いものです。そんな経験が支局で役立つとは思えませんが、高森町の写真が一枚でも多く紙面を飾るよう、頑張りたいと思います。ただし支局の管轄は、皆さんご存知のように高森警察署と同じ五町村。たった一人でカバーしますので、時にはご容赦ください。

好天に恵まれ



今回の新企画、味噌のつめ放題大会



新酒コーナーには人だかり



肥後牛の丸焼きや田楽等に長蛇の列



婦人会はホルモンとのかき汁担当



食改善推進協議会はだご汁を担当

出店・コーナー紹介

町観光協会会員はもちろん、たくさんの方の個人・団体の皆さんの協力により開催できました。

- ◆新酒コーナー ◆だご汁 ◆おにぎり ◆豚汁 ◆田楽 ◆やまめ ◆赤牛焼肉 ◆地鶏焼き ◆焼きおにぎり ◆鶏卵 ◆特産品(かりんとう・乾物・醤油・漬物・清酒・ハム・ソーセージ) ◆奥阿蘇物産館 ◆模擬店(クッキー・カレー・生あけ・饅頭・餅・コンニャク・焼きそば・パフンおにぎり・ぜんざい・ホルモン) ◆餅つきコーナー ◆風鎮太鼓演奏 ◆高森社中(にわか) ◆味噌のつめ放題 ◆高校総体PRTシャツ

農業コンクール表彰 (地域貢献賞)



大字河原 後藤末士さん

キャベツの産地化・農協の広域合併等に貢献

後藤さんは、キャベツ部会長を歴任し、キャベツの産地化と共同出荷体制の再編に尽力されました。また、昭和61年には野尻農協長に就任され、平成4年の阿蘇南農協の誕生に貢献されました。

農業委員会だより

農地の転用には許可が必要です

農地の転用とは、農地を住宅や工場、道路・山林・資材置き場、駐車場等の用地にすることです。許可制(県知事、又は農林水産大臣)としているのは優良な農地を守るためであり、又住宅、工場等が無秩序に建設されることによって、周囲の農業生産に悪影響を及ぼさないように調整を図るためです。

農地の所有者自らが転用を行う場合は農地法第4条、農地を持っていない人などが転用を目的に農地を買ったり借りたりする場合は農地法第5条の許可が必要です。

許可を受けずに転用した場合には、厳しい罰則をもとに原状回復を含めた是正指導が行われます。

近年山林等への転用が無届で行われているケースが多く見受けられます。必ず、農業委員会へ届出を行い、許可を受けましょう。

詳しいお問い合わせは農業委員会事務局まで
TEL 2-1111 (内線151)

平成十三年度は大字津留の市街地及びその周辺を実施 (地籍調査)



町では、国土調査法に基づき昭和五十四年度から「地籍調査」事業を実施しています。これまでに高森、色見地区及び大字河原と大字尾下の調査が完了、昨年は大字津留の一部を終えています。今年度は大字津留の下ノ津留、澤津、上鳥越、下鳥越、白石、奥白石、前白石、後迫、前迫、向道岸、年ノ神、元道岸、堤ノ頭、宮園、川田代、上ノ津留、堂ノ迫、高尾立、塔ノ本、城ノ越、岩ノ上、高群、向高群、横尾野、水ノ元、坂ノ上、奥賢女荒、前賢女荒、大久保、彦原の三十字、三、八五平方キロメートルを調査する予定です。

皆さんの協力で円滑な調査を

地籍調査を実施するうえで最も重要なことが筆界確認作業です。土地の所有者である皆さんの協力なくしては、この大仕事を成し遂げることは出来ません。町では毎年実施する地区から推進委員を選んでいたが、本事業を進めることにしています。調査を実施するに当たり、土地所有者の皆さまにお願いがあります。

①土地の境界確認と杭うち

境界を中心に一メートル五センチ幅に竹木などの伐採や草取りを行い、測量が出来やすいようにしてください。調査当日は、隣接所有者と立会確認のうえ、筆界杭を曲がり角にしっかりと打ち込んでください。

②一筆調査には必ず立ち会いを

隣接所有者との話し合いがつかず境界が決定しない場合は筆界未定地として処理されるため調査完了後は個人の費用で測量を行い境界を決定して登記所に申請しなければなりません。

円滑な調査を進めるためにも、一筆調査の立ち会いにはぜひご協力ください。当日、本人が立会いできない場合は必ず代理人を出してください。

県協会理事 三次圭介氏を迎え

バドミントンの講習会と大会



三次氏の判りやすい実技指導

二月二十四日(土)、町バドミントン協会(谷川勝会長)では、菊水中学教諭で県協会理事の三次圭介氏を迎えて小学生・中学生・一般を対象に高森中学校体育館で講習会が行われ、講師の判りやすい実技指導に参加者は熱心に受講していました。

また、午後からは町協会主催の平成十三年第一回高森町バドミントン大会が開催されました。大会には一般男女四十名、中学生十五名、小学生三十五名計九十名が参加。午前中の講習の成果を存分に発揮して和気あいあいながらも、熱のこもった試合が展開されました。

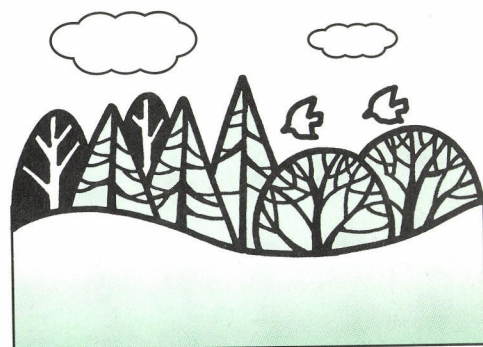
結果は次のとおりです。
※高Ⅱ高森小・東Ⅱ高森東小

大会結果 (優勝のみ掲載)

- ▼一般の部(一部) 津留栄樹・星子洋実
- ▼一般の部(二部) 古澤建生・山本博美
- ▼中学校女子の部 利道亜弥・津留綾乃(高中)
- ▼中学校男子の部 原直生・甲斐賢史郎(高中)
- ▼六年女子の部 山田桂子・三井千鶴(高)
- ▼六年男子の部 本田雅実通・安藤浩樹(東)
- ▼五年女子の部 錦戸恵梨香・山田静香(高)
- ▼五年男子の部 吉良山秀樹・森隆志(東)
- ▼四年女子の部 船山裕稀・内倉奈々美(高)
- ▼四年男子の部 本田晶裕・杉永一樹(高)



「燃える若きやもん」お母さんといっしょ「動物は友だち」登壇者募集中。



あなたの募金が緑をつくります

みどりの週間 4月23日~29日

おいしい水、きれいな空気……。

その源は森の緑です。

私たちの健康に密接にかかわる大切な緑を守るために、「緑の募金」にご協力ください。

今年も4月23日~29日を強調週間として、全国で募金運動やイベントが行われます。

こんな役割もあります

- 森林には、二酸化炭素を吸収し、蓄える働きがあります。地球温暖化防止にとっても貢献してくれます。
- 森林資源は、再生可能な資源です。良質な木材からつくられる住宅をはじめとする木製品は、わたしたちの暮らしを支え、ぬくもりを与えてくれます。

森林は人を支えている

ふだんはあまり気にすることがありませんが、水も空気も、私たちが人間は当然のように受け入れています。しかし、それは本当に当たり前のことでしょうか。おいしい水やきれいな空気は、森林のおかげなのです。森林は、私たちの暮らしを陰から支えています。わたしたちは貴重な財産である緑をみんなで守り、育てていく必要があるのです。

文芸

POETRY PAGE

肥後狂句 如月

(阿蘇御神火会)

俳句

(高森菜の花句会)

葉に乗せし束の間白き春の雪
音もなく木の芽促す雨ならん
まんさくの花は川辺に香を放つ
卒然の計報に春愁つのりけり
フリーマーケット通りすがりの春日中
初音聞き今年の幸を受けしよな
野火の煤振舞酒の枺にまで
春昼や産声しかととらえけり
小さき掌の受け手こぼるる雛あられ
山笑う日もあり膚さす風もあり
一瞬の火にたじろぎつ芝を焼く

弥永 ふき
内田 フミ
吉井千恵子
桐原とし子
後藤つみ子
林 久恵
山村ふみ子
古庄 泰子
平田ルリ子
馬原 要子
岩下 扶美

たくさんの思い出ありがとう 各学校で卒業式

三月十四日には町内の三中学（高森東中、草部中、高森中）、三月二十三日には五つの小学校（高森小、上色見小、色見小、草部南部小、高森東小）の卒業式が行われました。児童・生徒たちは後輩や先生との別れを惜しみながらも元氣よく母校を飛び立っていきました。

高森中学校（村上邦男校長）の卒業式は、村上校長から卒業証書を卒業生八十八名に一人ひとり授与。楽しかった学校行事や一生懸命頑張った部活動などの思い出に浸りながらの卒業式。

一方、上色見小学校（志崎大東校長）の卒業式ではオベレッタで在校生と卒業生とが思い出を語り、楽しかったことや辛かったことなどの思い出に、児童はもちろんのこと保護者や先生たちのあいだにも涙を浮かべる場面もありました。



答辞を述べる緒方洋貴さん。（高森中学校）



先生の目にも涙が。（高森中学校）



中学校の制服を着、緊張の卒業生。（上色見小学校）

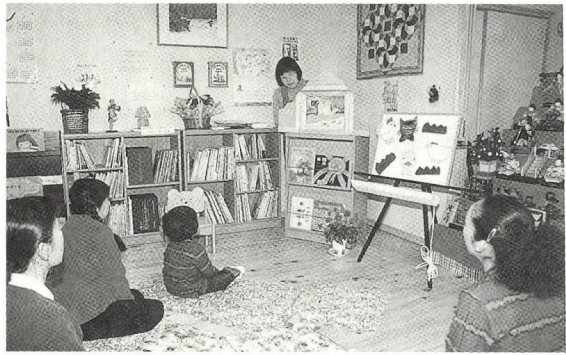
「絵本は、深く感じ、深く思い、深く考える場と機会を子どもの生活の中につくり出すものとして意義がある。」（松井直氏）が言っているように子どもたちにとって、絵本の楽しさが心の健やかさを保つていけると言えるのではないのでしょうか？



「木いちご」の名は本も野山で遊ぶのも大好きでとの思いからつけられました。

旭通の後藤良子さんが自宅裏に小さな絵本館「木いちご」を開設されました。

後藤さんは長年、保育の仕事されていた中で、子どもがよい絵本に出会うことがどんなにすばらしいことか、しかも、お父さんやお母さんと一



毎回「おはなし会」では紙芝居も。

緒に共感できることが子どもにとつていかに大切なことであるかを強く感じてこられたそうです。そんな思いから絵本館（子ども文庫）を開き、ボランティアとして地域のみなさんに育てていただければと話されました。

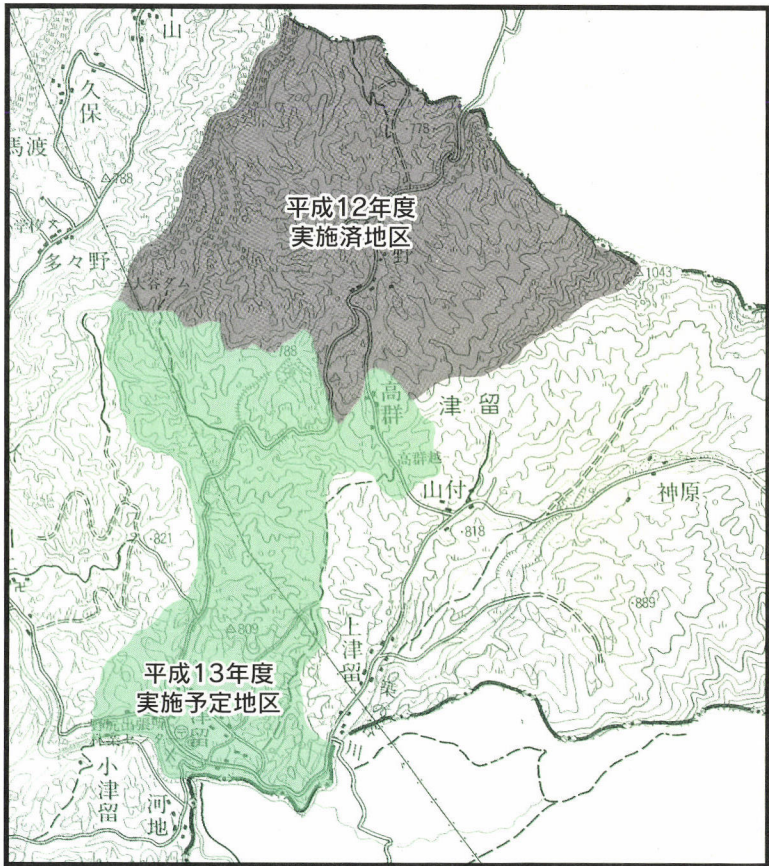
開館日は第二・四の土曜日です。高森小学校の読書ボランティアのみなさま方も、ボランティアとして協力いただいております。また、ミニコンサートなども予定されているようです。

多くのおみなさんご利用をお待ちしています。どうぞお気軽にお越しください。

■連絡先 後藤良子さん
高森町旭通 TEL 2・1049

地籍調査はこうにして
進められます

- ①地区説明会
- ↓
- ②一筆地調査
- ↓
- ③測量
- ↓
- ④面積測定
- ↓
- ⑤地籍簿・地籍図の作成
- ↓
- ⑥本閲覧
- ↓
- ⑦知事の認証
- ↓
- ⑧登記所送付



平成13年度に行われる調査区域
(大字津留の一部)

※皆さんに足を運んでいただくのは
①②⑥です。
その都度、ご通知いたします。

詳しくは 役場 企画観光課 地籍調査係まで TEL 2-1111 (内線214・215)

町内の先生方阿蘇郡教育論文で 多数上位入賞

平成12年度の阿蘇郡教育論文の審査が行われ本町の学校・先生方が上位入賞を果たされました。毎年本町の先生方は教育上での課題を取りまとめられこの論文に応募されています。今年度も授業や生徒指導を終えた放課後や自宅での論文作成に熱心に取り組まれて多くの出品があったようです。上位入賞者は次のとおりです。このほか佳作で共同グループの部に5つの学校・グループ、個人の部に8つの作品が入賞されました。

	賞	出品者	分野名	論文題名
共同・グループの部	特選	草部南部小学校	国語	自分思いをいきいきと伝え合う子どもの育成をめざして
	準特選	高森東中学校	健康教育	「環境問題に向き合い、地域に働きかける実践力を持つ生徒の育成」 ～大地の声を聞き、大地の声に応えよう～
	入選	高森中学校	道德教育	「思いやりの心を持ち、自他を尊重する生徒の育成」 ～生きる力を育む道德教育めざして～
	入選	草部南部小学校 佐藤・福田・鈴木	総合的な学習	地域に根ざした総合的な学習の実践
個人の部	特選	高森東中学校 教諭 岩根 元	保健体育	スポーツライフの実現をめざし、主体的に運動に取り組む生徒の育成 ～課題追求学習・ライフスキル・体力の向上の実践を通して～
	奨励賞	高森小学校 講師 下村昌夫	生徒指導	基本的な生活習慣の定着を目指して ～あいさつからはじまる生徒指導～

昭和三十四年八月一日に「町政だより」第一号として発刊された「広報たかもり」は、平成十三年四月五日発行の今月号がついに五〇〇号となりました。専任として担当された五名の方に思い出を投稿していただきました。

広報誌づくりの思い出

岩下弘三（平成十二年三月三十一日退職）

（広報たかもり担当 昭和46年7月1日～昭和58年8月9日担当）
昭和四十六年の機構改革で文書広報係が新設され、それまで行政広報と無関係だった私にとつて、全く無我夢中からの始まりでした。当時の広報誌はガリ版印刷からタブloid版の活版に移ったばかりで、各課からのお知らせが全体を占めていました。まずは親しみのある広報誌にと現在の冊子タイプに変更。わかりやすい文章、見出しに気を使うとともに季節の話題や、カメラスケッチをできるだけ取り入れるように心がけました。企画から原稿づくり、レイアウト、校正など、決められた時間での作業は毎日、毎月が試行錯誤の連続でした。しかし、うれしいことに昭和五十年、第十九回熊日広報コンクールで一席を受賞。それまでの苦勞が、報われて大きな喜びを感じた時でもあり、悩みの始まりでもありました。当時の企画連載、「町の新婦さん」「高森の歴史」「高森の民話」や適宜催した、「広報座談会」など懐かしき思い出されます。

愛される広報づくりへ

古澤建生（現企画係長）

（広報たかもり担当 昭和62年8月1日～平成3年6月30日担当）
広報高森の発行五百号。記念すべき二〇〇一年のスタートにあたり、歴代担当者としてのこの場にその思いを記すことができることをたいへん喜ばしく思います。
私が担当したのは昭和六十二年八月一日から平成三年六月三十日までの三年と十一ヶ月。広報に関して右も左も、そして東も西もまったく未知の分野を担当することになった時、その不安と戸惑いに胸がしめつけられる思いでした。

さて、担当したのは約四年という期間でしたが、この間に取材を通して最も印象深く心に残っている二つの出来事があります。一つは、昭和六十二年五月の時間雨量九十九ミリという記録的な集中豪雨が発生、冬野地区をはじめ草部南部地区に死者三名、田畑の被害三十億円という多大な被害をもたらした、道なき道を歩いて被害状況を取材したこと。二つ目は平成元年十月の阿蘇山噴火による「ヨナ」火山灰の降灰。白い粉雪ならぬ灰色の粉雪が舞うという中で、傘をさしてレンズを試きながらカメラをさしてビデオにその様子を収めたことです。あれから十年、広報という仕事を通して学んだことというところ、「愛される広報づくり」の大切さ、そして「人との出会い、人を知る」ということでした。町内外のお年寄りから子どもまでたくさんの方々に接することが出来たことは、今日においても行政マンとして大きな収穫であつたと思います。

大きな昇目の原稿用紙、そしてレイアウト編集、モノクロ写真の現像から焼付けに始まった業務。後にワープロによるレイアウト編集への移行等さまざまな経過をたどり、現在ではパソコンによる編集と大きな進展を遂げましたが、今回の記念すべき五百号を機に町民の皆さんに「愛される広報」として、さらなる飛躍発展を期待いたします。

《同和問題や人権問題をめぐる取り組みはどんなになっていくのですか？》

人権啓発シリーズ No.11

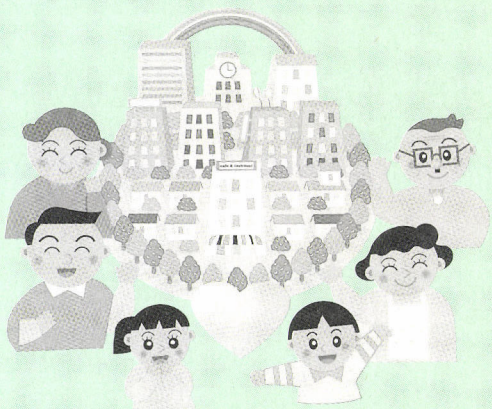
世界では、二度の世界大戦後も依然として地域紛争が多発し、多くの犠牲者を出しています。その背景には、人種や民族の対立や偏見、そして差別の存在があります。こうしたなかで、人類は「平和のないうちに人権は存在し得ない」、「人権のないところに平和は存在し得ない」という大きな教訓を得ました。

今や、人権の尊重が平和の基礎であるということが世界の共通認識になりつつあります。このような意味において、二十一世紀は「人権の世紀」と呼ぶことができます。

人権とは、自己実現と幸福追求のための権利です。人権は学んで知る知識ではなく、人がいるところならどこにでもある、人と人の基本的関係にとらえることができるような社会をめざすことが重要です。

また、偏見を持った人を説得したり、弱い立場の人々が、社会参加のための知識・技能等を身につけること、いわゆるエンパワーメントすることを実現していくなど、人権の知識を行動につなぐスキル（技能）を具体的に育てることが必要です。

さらに 社会的弱い立場に置かれている人々に対する私たちの態度のあり方です。「かわいそう」「気の毒」という哀れみや同情ではなく、対等、平等の関係で共生するという態度で社会とかかわることができるのが大切なことです。



広報誌づくりの思い出

後藤秀希（現住民生活課長）

（広報たかもり担当 昭和58年8月10日～昭和62年7月31日担当）
私が広報統計係をしていた昭和六十一年頃は、オフセット（平版）印刷も普及していましたが、「広報たかもり」はB五版の活版黒刷り。今のようA四版のカラー印刷など思いませんでした。そして写真が当然白黒。カラー写真が主流の時代になっていまだから、撮影したフィルムを現像し、印画紙に焼き付けるといった作業も当然自分でしたければなりません。現像液は二十度という原則があるため、夏と冬は大変な作業です。冬はストープで温度を上げることは割と容易でしたが、夏は大変な作業です。水で現像液を冷ますものの、暗室の中は、締め切っているため三十度を超える室温になり、汗をかきながらの作業が半日ほど続きます。
現在は、コンピュータを活用した広報誌が届けられており目で楽しませてくれるカラフルな誌面を見ると、時々昔の作業を思い出します。

広報の思い出

橋本和則（現農業振興係長）

（広報たかもり担当 平成3年7月1日～平成6年3月31日）
私の苦手なことの一つに作文があります。子どもの頃から日記や作文で、思っていることを文章にするのに苦労してきました。「広報担当」の辞令を受けた時、自分に広報誌づくりができるか不安のスタートでした。今回、記念すべき五〇〇号と発行ということで、二年八月と短い間ではありましたが中継ぎでやれたことが今では誇りに思えます。町村合併が叫ばれる中、高森の歴史や出来事が凝縮された広報誌を今後も楽しみにしていきたいと思っています。



左上から創刊号・100号・200号・300号、左下から400号、A4版第1号、デザイン変更号2部

難しさと楽しさいっぱい広報誌づくり 岩下公治（現固定資産税係長）
私の担当期間の間、それまでの広報誌担当者の悲願であつた表紙カラー化とA4判化（そして、省力化と費用削減を目的としてコンピュータで原稿を作成する「DTP」にも取り組みました。本町には毎月の誌面に入りきれないほどにソフト面とハード面、そして人的、物的にも素晴らしい素材がたくさんあります。また、家庭教育の大切さをうったえ、みんなで認め合い、誇り合う中から明るいまちづくりにつなげたいと、「掘り起こし」に私なりに取り組んだつもりではありましたが、すればするほどに難しく個人的にも負担が増大しました。しかしながら、取材での町民の皆様とのふれあいなどでやりがいと楽しさも感じる有意義な3年間でありました。「広報たかもり」の今後益々の発展を祈ります。

ご存知ですか？

公共的施設の整備をされる場合は町単独の補助が受けられます。

補助の内訳一覧

補助対象事業	事業の内訳	限度額	補助率
消防施設整備事業	ポンプ格納庫、防火水槽等消防施設の新設・改良に要する工費	150万円	2/3以内
道路橋梁整備事業	地方開発のため必要な道路、橋梁の新設改良に要する工費	100万円	5/10以内
生活環境整備事業	地域住民の福祉生活の向上のための飲料水供給施設、下水道施設の整備に要する工費	150万円	5/10以内
集会所の整備事業	集会所整備事業に要する工費	300万円	4/10以内
街路灯の整備事業	街路灯整備事業に要する工賃。ただし5戸以上による街路灯設置組合を設立し、その維持管理及び目的等を定めた規約を設けることとする	150万円	5/10以内
その他公共的事業	その他町長が特に必要と認めた事業	町長が定める額	町長が定める率

※事業をされる場合は、起工の前年度12月末日までに申請書を提出し、あらかじめその承認を受ける必要がありますので、事前に担当課までご相談ください。

ただし、申請多数の場合は予算の状況等により採択されない場合があります。

「ひのくに新世紀総体」
総合開会式一般観覧者募集

八月一日に開催される「ひのくに新世紀総体」総合開会式の一般観覧者を募集します。
■募集人員 一万二千人
■入場料 無料
■募集期間 四月十六日(月)～五月三十一日(木)
■問い合わせ 平成十三年度全国高等学校総合体育大会熊本県実行委員会事務局

TEL 096 (383) 1111
(内線6795)

労働保険の年度更新はお早めに！

平成十三年度労働保険料の申告・納付は、四月一日から五月三十一日までとなっています。

労働保険は農林水産事業の一部を除き、一人でも労働者を雇用されますと強制適用となっています。

加入手続きがお済みでない場合も速やかに手続きをしてください。

熊本労働局労働保険徴収室
TEL 096 (211) 1702

青年海外協力隊員募集

青年海外協力隊員は国際協力事業団が実施している国の事業です。開発途上国の人々の新しい国づくりのためにあなたの可能性を試してみませんか？

国際協力事業団では平成十三年度春の募集として、農林水産から教育、スポーツなど約百四十職種にわたる約八百名を募集しています。満二十歳以上満三十九歳までの日本国籍を持つ方なら誰でも応募できます。

派遣国約六十カ国。(アジア、アフリカ、中南米、中近東、大洋州、東欧) 派遣期間は二年間。

なお、募集説明会が四月十三日(金)、五月十六日(水)に熊本市産業文化会館で実施されます。時間は午後六時三十分からとなっています。

詳しくは
熊本県環境生活部

国際課国際協力班
TEL 096 (387) 1111
(内線3190)

阿蘇地域県政モニター募集

県では県政モニター制度にかえ、各地域における県政の課題等についてご意見、ご提案をいただくため、「阿蘇地域県政モニター制度」を新たに設置します。

■主な仕事 年数回の会議に出席し、地域の問題や課題などについてご意見・ご提案をいただきます。平成十三年度は「町村合併」を中心に意見交換等を実施予定。

■応募資格 二十歳以上(平成十三年四月一日現在)で阿蘇地域にお住まいの方。ただし、常勤の公務員や議会議員の方などは応募できません。

■選考結果 五月中に応募者全員に通知します。

■募集人員 十二名程度
■応募方法 応募理由を四百字詰め原稿用紙一枚以内に記入のうえ、住所・氏名・年齢・職業及び電話番号を明記し、郵送してください。

■締め切り 平成十三年四月二十七日(金)(当日消印有効)
■宛先・問い合わせ先 阿蘇郡一の宮町宮地2402 阿蘇地域振興局振興調整室内「阿蘇地域県政モニター募集」係
TEL 0967 (22) 1111
(内線391)

国家公務員採用試験

国家公務員の採用試験の受験者を次のとおり募集しています。

☆Ⅰ種試験

【受験資格】 昭和四十三年四月二日(昭和五十五年四月一日生まれの者(特例あり))

【申込み受付期間】 郵送 四月三日(火)～五月十日(木)

持参 五月一日(火)～五月十日(木)

【第一次試験日】 六月十日(日)

☆Ⅱ種試験

【受験資格】 昭和四十七年四月二日(昭和五十五年四月一日生まれの者(特例あり))

【申込み受付期間】 郵送 四月三日(火)～五月十日(木)

持参 五月一日(火)～五月十日(木)

【第一次試験日】 七月一日(日)

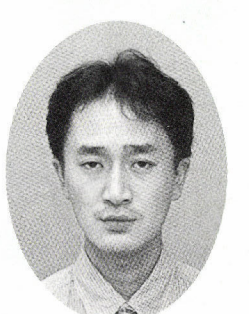
【問い合わせ先】

人事院九州事務局
採用試験テレホンサービス
TEL 092 (431) 8173

はじめまして

熊本日日新聞社

高森支局長 小山 正史



去る三月一日付の異動で高森支局に赴任しました。よろしくお願いいたします。入社して十年ですが、異動までの六年間は、本社の写真部という部署に在籍していました。その名の通り、写真を撮るのが主な仕事。事件や事故はもちろん、祭り、動植物、料理、スポーツなど対象は幅広いものです。そんな経験が支局で役立つとは思えませんが、高森町の写真が一枚でも多く紙面を飾るよう、頑張りたいと思います。ただし支局の管轄は、皆さんご存知のように高森警察署と同じ五町村。たった一人でカバーしますので、時にはご容赦ください。



新酒コーナーには人だかり



今回の新企画、味噌のつめ放題大会

好天に恵まれ



肥後牛の丸焼きや田楽等に長蛇の列



婦人会はホルモンとのっぺ汁担当



食改善推進協議会はだご汁を担当

出店・コーナー紹介

町観光協会会員はもちろん、たくさんの方の個人・団体の皆さんの協力により開催できました。

- ◆新酒コーナー ◆だご汁・おにぎり ◆豚汁 ◆田楽 ◆やまめ ◆赤牛焼肉 ◆地鶏焼き ◆焼きおにぎり ◆駅弁 ◆特産品(かりんとう・乾物・醤油・漬物・清酒・ハム・ソーセージ) ◆奥阿蘇物産館 ◆模擬店(クッキー・カレー・生あけ・饅頭・餅・コンニャク・焼きそば・パフンおにぎり・せんざい・ホルモン) ◆餅つきコーナー ◆風鎮太鼓演奏 ◆高森社中(にわか) ◆味噌のつめ放題 ◆高校総体PRTシャツ

農業コンクール表彰(地域貢献賞)



大字河原 後藤末士さん

キャベツの産地化・農協の広域合併等に貢献

後藤さんは、キャベツ部会長を歴任し、キャベツの産地化と共同出荷体制の再編に尽力されました。また、昭和61年には野尻農協長に就任され、平成4年の阿蘇南農協の誕生に貢献されました。

農業委員会だより

農地の転用には許可が必要です

農地の転用とは、農地を住宅や工場、道路・山林・資材置き場、駐車場等の用地にすることです。許可制(県知事、又は農林水産大臣)としているのは優良な農地を守るためであり、又住宅、工場等が無秩序に建設されることによって、周囲の農業生産に悪影響を及ぼさないように調整を図るためです。

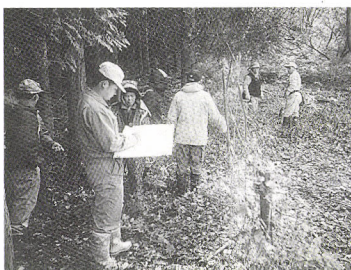
農地の所有者自らが転用を行う場合は農地法第4条、農地を持っていない人などが転用を目的に農地を買ったり借りたりする場合は農地法第5条の許可が必要です。

許可を受けないで転用した場合には、厳しい罰則をもとに原状回復を含めた是正指導が行われます。

近年山林等への転用が無届で行われているケースが多く見受けられます。必ず、農業委員会へ届出を行い、許可を受けましょう。

詳しいお問い合わせは農業委員会事務局まで
TEL 2-1111 (内線151)

平成十三年度は大字津留の市街地及び その周辺を実施 (地籍調査)



町では、国土調査法に基づき昭和五十四年度から「地籍調査」事業を実施しています。これまでに高森、色見地区及び大字河原と大字尾下の調査が完了、昨年は大字津留の一部を終えています。今年度は大字津留の下ノ津留、澤津、上鳥越、下鳥越、白石、奥白石、前白石、後迫、前迫、向道岸、年ノ神、元道岸、堤ノ頭、宮園、川田代、上ノ津留、堂ノ迫、高尾立、塔ノ本、城ノ越、岩ノ上、高群、向高群、横尾野、水ノ元、坂ノ上、奥警女荒、前警女荒、大久保、痣原の三十字、三、八五平方キロメートルを調査する予定です。

皆さんの協力で 円滑な調査を

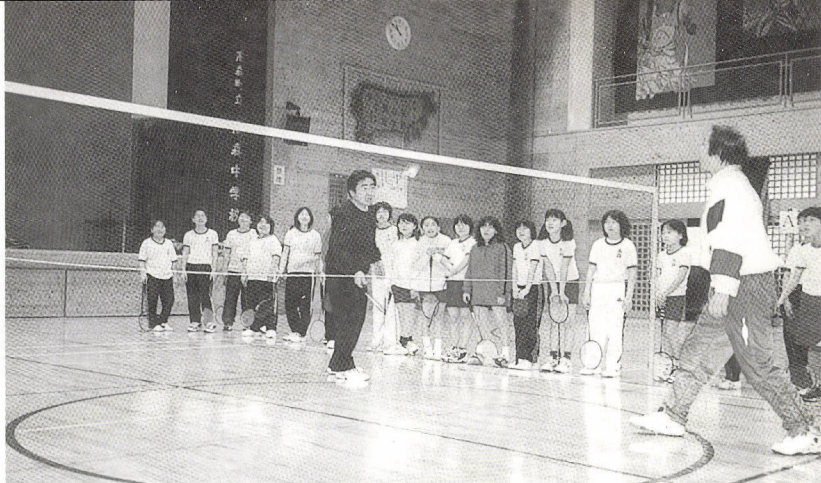
地籍調査を実施するうえで最も重要なことが筆界確認作業です。土地の所有者である皆さんの協力なくしては、この大仕事を成し遂げることは出来ません。町では毎年実施する地区から推進委員を選んでいたが、本事業を進めることにしています。

①土地の境界確認と杭うち
境界を中心に一メートル五十センチ幅に竹木などの伐採や草取りを行い、測量が出来やすいようにしてください。調査当日は、隣接所有者と立会確認のうえ、筆界杭を曲がり角にしっかりと打ち込んでください。

②一筆調査には必ず立ち会いを
隣接所有者との話し合いがつかず境界が決定しない場合は筆界未定地として処理されるため調査完了後は個人の費用で測量を行い境界を決定して登記所に申請しなければなりません。

円滑な調査を進めるためにも、一筆調査の立ち会いにはぜひご協力ください。当日、本人が立会できない場合は必ず代理人を出してください。

県協会理事 三次圭介氏を迎え バドミントンの講習会と大会



三次氏の判りやすい実技指導

二月二十四日(土)、町バドミントン協会(谷川勝会長)では、菊水中学教諭で県協会理事の三次圭介氏を迎えて小学生・中学生・一般を対象に高森中学校体育館で講習会が行われ、講師の判りやすい実技指導に参加者は熱心に受講していました。

また、午後からは町協会主催の平成十三年第一回高森町バドミントン大会が開催されました。

大会には一般男女四十名、中学生十五名、小学生三十五名計九十名が参加。午前中の講習の成果を存分に発揮して、和気あいあいながらも、熱のこもった試合が展開されました。

- 大会結果 (優勝のみ掲載)
- ▼一般の部(二部)
 - 津留栄樹・星子洋実
 - ▼一般の部(一部)
 - 古澤建生・山本博美
 - ▼中学校女子の部
 - 利道亜弥・津留綾乃(高中)
 - ▼中学校男子の部
 - 原直生・中斐賢史郎(高中)
 - ▼六年女子の部
 - 山田桂子・三井千鶴(高)
 - ▼六年男子の部
 - 本田雅実通・安藤浩樹(東)
 - ▼五年女子の部
 - 錦戸恵梨香・山田静香(高)
 - ▼五年男子の部
 - 吉良山秀樹・森隆志(東)
 - ▼四年女子の部
 - 船山裕稀・内倉奈々美(高)
 - ▼四年男子の部
 - 本田晶裕・杉永一樹(高)

※高Ⅱ高森小・東Ⅱ高森東小



「燃える若きやもん」「お母さんといっしょ」「動物は友だち」登場者募集中。



あなたの募金が
緑をつくります

みどりの週間 4月23日～29日

おいしい水、きれいな空気・・・。
その源は森の緑です。
私たちの健康に密接にかかわる大切な緑を守るために、「緑の募金」にご協力ください。
今年も4月23日～29日を強調週間として、全国で募金運動やイベントが行われます。

こんな役割もあります

- 森林には、二酸化炭素を吸収し、蓄える働きがあります。地球温暖化防止にとっても貢献してくれます。
- 森林資源は、再生可能な資源です。良質な木材からつくられる住宅をはじめとする木製品は、わたしたちの暮らしを支え、ぬくもりを与えてくれます。

森林は
人を支えている

ふだんはあまり気にすることがありませんが、水も空気も、私たち人間は当然のように受け入れています。しかし、それは本当に当たり前のことでしょうか。
おいしい水やきれいな空気は、森林のおかげなのです。森林は、私たちの暮らしを陰から支えています。わたしたちは貴重な財産である緑をみんなど守り、育てていく必要があるのです。

文芸

POETRY PAGE

肥後狂句 如月

冗談だらう 倒産しとる高利貸
ぶらあつと キンカン苗と戻りよる
水の泡 意見したけん寄りつかん
一匹狼 恐ろしかつは媽アだけ
水の泡 軽率侮やむ隠し撮り
ぶらあつと 名水巡りしよります
水の泡 メス入れて死期早めたつ
ぶらあつと 野草辞典とお出でとる
気の重さ 連立で泥かぶりよる
水の泡 苦勞して来て粗大ごみ
ぶらあつと 釣談義でんしてこうか
水の泡 人手に渡るマイホーム
冗談だらう マジで銀行ギャングかい

俳句

(高森菜の花句会)

葉に乗せし東の間白き春の雪
音もなく木の芽促す雨ならん
まんさくの花は川辺に香を放つ
卒然の計報に春愁つりけり
フリーマーケット通りすがりの春日中
初音聞き今年の幸を受けしよな
野火の煤振舞酒の柁にまで
春昼や産声しかとらえけり
小さき掌の受け手こぼるる雛あられ
山笑う日もあり膚さす風もあり
一瞬の火にたじろぎつ芝を焼く

弥永 ふき
内田 フミ
吉井千恵子
桐原とし子
後藤つみ子
林 久恵
山村ふみ子
古庄 泰子
平田ルリ子
馬原 要子
岩下 扶美

先月号の俳句に誤りがありましたのでお詫びして訂正します。
灯を消せば星降る窓に寒の月 後藤法龍

たくさんの思い出ありがとう 各学校で卒業式

三月十四日には町内の三中学（高森東中、草部中、高森中）、三月二十三日には五つの小学校（高森小、上色見小、色見小、草部南部小、高森東小）の卒業式が行われました。児童・生徒たちは後輩や先生との別れを惜しみながらも元氣よく母校を飛び立っていきました。

高森中学校（村上邦男校長）の卒業式は、村上校長から卒業証書を卒業生八十八名に一人ひとり授与。楽しかった学校行事や一生懸命頑張った部活動などの思い出に浸りながらの卒業式。

一方、上色見小学校（志崎大東校長）の卒業式ではオベレッタで在校生と卒業生とが思い出を語り、楽しかったことや辛かったことなどの思い出に、児童はもろろのこと保護者や先生たちのあいだにも涙を浮かべる場面もありました。



答辞を述べる緒方洋貴さん。（高森中学校）



先生の目にも涙が。（高森中学校）



中学校の制服を着、緊張の卒業生。（上色見小学校）

「絵本は、深く感じ、深く思い、深く考える場と機会を子どもの生活の中につくり出すものとして意義がある。」（松井直氏）が言っているように子どもたちにとって、絵本の楽しさが心の健やかさを保っていると言えるのではないだろうか？



「木いちご」の名は本も野山で遊ぶのも大好きでとの思いからつけられました。

旭通の後藤良子さんが自宅裏に小さな絵本館「木いちご」を開設されました。

後藤さんは長年、保育の仕事されていた中で、子どもがよい絵本に出会うことがどんなにすばらしいことか、しかも、お父さんやお母さんと一



毎回「おはなし会」では紙芝居も。

緒に共感できることが子どもにとつていかに大切なことであるかを強く感じてこられたそうです。そんな思いから絵本館（子ども文庫）を開き、ボランティアとして地域の方々に育てていただければと話されました。

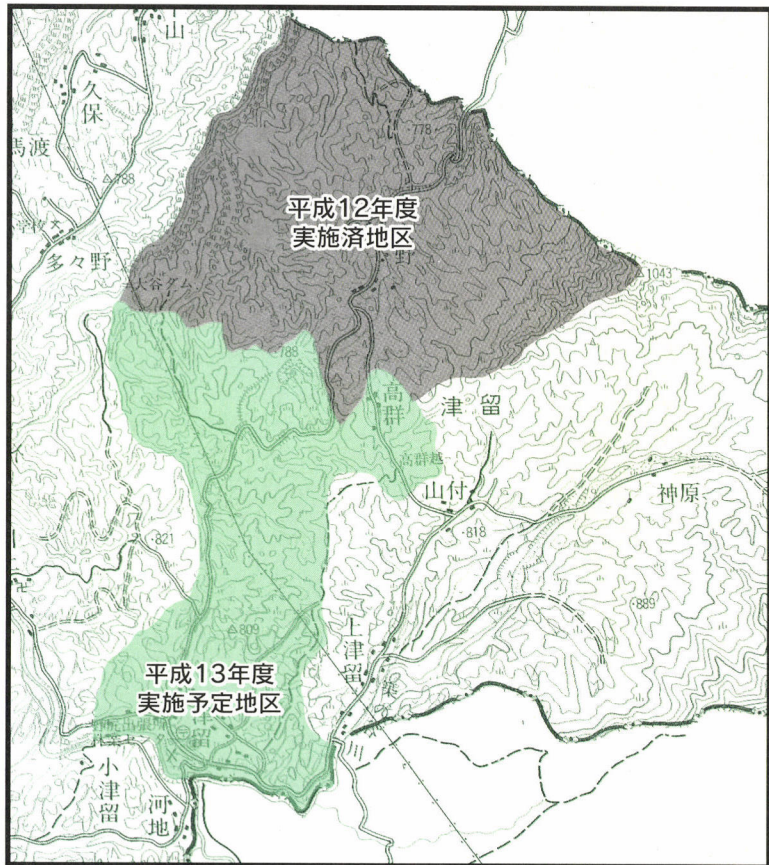
開館日は第二・四の土曜日です。高森小学校の読書ボランティアのみなさま方も、ボランティアとしてご協力いただいております。また、ミニコンサートなども予定されているようです。

多くの方のご利用をお待ちしています。どうぞお気軽にお越しください。

■連絡先 後藤良子さん
高森町旭通 TEL 21049

地籍調査はこうにして
進められます

- ①地区説明会
- ↓
- ②一筆地調査
- ↓
- ③測量
- ↓
- ④面積測定
- ↓
- ⑤地籍簿・地籍図の作成
- ↓
- ⑥本閲覧
- ↓
- ⑦知事の認証
- ↓
- ⑧登記所送付



平成13年度に行われる調査区域
（大字津留の一部）

※皆さんに足を運んでいただくのは

①②⑥です。

その都度、ご通知いたします。

詳しくは 役場 企画観光課 地籍調査係まで TEL 2-1111（内線214・215）

町内の先生方阿蘇郡教育論文で 多数上位入賞

平成12年度の阿蘇郡教育論文の審査が行われ本町の学校・先生方が上位入賞を果たされました。毎年本町の先生方は教育上での課題を取りまとめられこの論文に応募されています。今年度も授業や生徒指導を終えた放課後や自宅での論文作成に熱心に取り組まれて多くの出品があったようです。上位入賞者は次のとおりです。このほか佳作で共同グループの部に5つの学校・グループ、個人の部に8つの作品が入賞されました。

	賞	出品者	分野名	論文題名
共同・グループの部	特選	草部南部小学校	国語	自分思いをいきいきと伝え合う子どもの育成をめざして
	準特選	高森東中学校	健康教育	「環境問題に向き合い、地域に働きかける実践力を持つ生徒の育成」 ～大地の声を聞き、大地の声に応えよう～
	入選	高森中学校	道德教育	「思いやりの心を持ち、自他を尊重する生徒の育成」 ～生きる力を育む道德教育めざして～
	入選	草部南部小学校 佐藤・福田・鈴木	総合的な学習	地域に根ざした総合的な学習の実践
個人の部	特選	高森東中学校 教諭 岩根 元	保健体育	スポーツライフの実現をめざし、主体的に運動に取り組む生徒の育成 ～課題追求学習・ライフスキル・体力の向上の実践を通して～
	奨励賞	高森小学校 講師 下村昌夫	生徒指導	基本的な生活習慣の定着を目指して ～あいさつからはじまる生徒指導～

昭和三十四年八月一日に「町政だより」第一号として発刊された「広報たかもり」は、平成十三年四月五日発行の今月号がついに五〇〇号となりました。専任として担当された五名の方に思い出を投稿していただきました。

広報誌づくりの思い出
 岩 下 弘 三（平成十二年三月三十一日退職）
 （広報たかもり担当 昭和46年7月1日～昭和58年8月9日担当）
 昭和四十六年の機構改革で文書広報係が新設され、それまで行政広報と無関係だった私にとって全く無我夢中からの始まりでした。当時の広報誌はガリ版印刷からタブロイド版の活版に移ったばかりで、各課からのお知らせが全体を占めていました。まずは親しみのある広報誌にと現在の冊子タイプに変更。わかりやすい文章、見出しに気を使うとともに季節の話題や、カメラスケッチをできるだけ取り入れるように心がけました。企画から原稿づくり、レイアウト、校正など、決められた時間での作業は毎日、毎月が試行錯誤の連続でした。しかし、うれしいことに昭和五十年、第十九回熊日広報コンクールで一席を受賞。それまでの苦勞が、報われて大きな喜びを感じた時でもあり、悩みの始まりでもありました。当時の企画連載、「町の新婚さん」「高森の歴史」「高森の民話」や適宜催した、「広報座談会」など懐かしき思い出されます。

愛される広報づくりへ
 古 澤 建 生（現企画係長）
 （広報たかもり担当 昭和62年8月1日～平成3年6月30日担当）
 広報高森の発行五百号。記念すべき二〇〇一年のスタートにあたり、歴代担当者としての場にその思いを記すことができることをたいへん喜ばしく思います。
 私が担当したのは昭和六十二年八月一日から平成三年六月三十日までの三年と十一ヶ月。広報に関して右も左も、そして東も西もまったく未知の分野を担当することになった時、その不安と戸惑いに胸がしめつけられる思いでした。
 さて、担当したのは約四年という期間でしたが、この間に取材を通して最も印象深く心に残っている二つの出来事があります。一つは昭和六十三年五月の時間雨量九十九ミリという記録的な集中豪雨が発生、冬野地区をはじめ草部南部地区に死者三名、田畑の被害三十億円という多大な被害をもたらした。道なき道を歩いて被害状況を取材したこと。二つ目は平成元年十月の阿蘇山噴火による「ヨナ」火山灰の降灰。白い粉雪ならぬ灰色の粉雪が舞うという中で、傘をさしてレンズを試しながらカメラをしてビデオにその様子を収めたことです。
 あれから十年、広報という仕事を通して学んだことというところ、「愛される広報づくり」の大切さ、そして「人との出会い、人を知る」ということでした。町内外のお年寄りから子どもまでたくさんの方々に接することが出来たことは、今日においても行政マンとして大きな収穫であったと思います。
 大きな昇目の原稿用紙、そしてレイアウト編集、モノクロ写真の現像から焼付けに始まった業務。後にワープロによるレイアウト編集への移行等さまざまな経過をたどり、現在ではパソコンによる編集と大きな進展を遂げましたが、今回の記念すべき五百号を機に町民の皆さんに「愛される広報」として、さらなる飛躍・発展を期待いたします。

《同和問題や人権問題をめぐる取り組みはどんなになっていくのですか？》

世界では、二度の世界大戦後も依然として地域紛争が多発し、多くの犠牲者を出しています。その背景には、人種や民族の対立や偏見、そして差別の存在があります。こうしたなかで、人類は「平和のないうちに人権は存在し得ない」、「人権のないところに平和は存在し得ない」という大きな教訓を得ました。

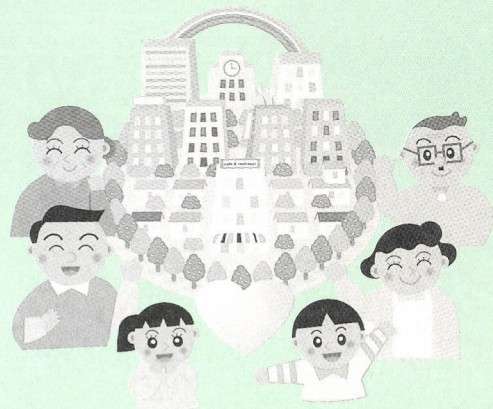
今や、人権の尊重が平和の基礎であるということが世界の共通認識になりつつあります。このような意味において、二十一世紀は「人権の世紀」と呼ぶことができます。

人権とは、自己実現と幸福追求のための権利です。人権は学んで知る知識ではなく、人がいるところならどこにでもある、人と人の基本的関係ととらえることができるような社会をめざすことが重要です。

また、偏見を持った人を説得したり、弱い立場の人々が、社会参加のための知識・技能等を身につけること、いわゆるエンパワーメントすることを実現していくなど、人権の知識を行動につなぐスキル（技能）を具体的に育てることが必要です。

さらに、社会的弱い立場に置かれている人々に対する私たちの態度のあり方です。「かわいそう」「気の毒」という哀れみや同情ではなく、対等、平等の関係で共生するという態度で社会とかかわることができるのが大切なことです。

わが国固有の人権問題である同和問題は、憲法が保障する基本的人権の侵害にかかる深刻かつ重大な問題です。同和問題は多くの人々の努力によって、解決に向けて進んでいるものの、残念ながら依然としてわが国における重要な課題と言わざるを得ません。
 その解決には、基本的人権を保障された私たち一人ひとりが自分自身の課題として、同和問題を人権問題という本質から捉え、解決に向けて努力する必要があります。



人権啓発シリーズ No.11

住民生活課 同和対策係 TEL 2・1・1・1・1（内線132）

※エンパワーメント・・・私たち一人ひとりが誰でも潜在的に持っているパワーや個性をふたたび生き生きと息吹かせること。

ご存知ですか？

公共的施設の整備をされる場合は町単独の補助が受けられます。

補助の内訳一覧

補助対象事業	事業の内訳	限度額	補助率
消防施設整備事業	ポンプ格納庫、防火水槽等消防施設の新設・改良に要する工費	150万円	2/3以内
道路橋梁整備事業	地方開発のため必要な道路、橋梁の新設改良に要する工費	100万円	5/10以内
生活環境整備事業	地域住民の福祉生活の向上のための飲料水供給施設、下水道施設の整備に要する工費	150万円	5/10以内
集会所の整備事業	集会所整備事業に要する工費	300万円	4/10以内
街路灯の整備事業	街路灯整備事業に要する工費。ただし5戸以上による街路灯設置組合を設立し、その維持管理及び目的等を定めた規約を設けることとする	150万円	5/10以内
その他公共的事業	その他町長が特に必要と認めた事業	町長が定める額	町長が定める率

※事業をされる場合は、起工の前年度12月末日までに申請書を提出し、あらかじめその承認を受ける必要がありますので、事前に担当課までご相談ください。
 ただし、申請多数の場合は予算の状況等により採択されない場合があります。

広報の思い出
 橋 本 和 則（現農業振興係長）
 （広報たかもり担当 平成3年7月1日～平成6年3月31日）
 私の苦手なことの一つに作文があります。子どもの頃から日記や作文で、思っていることを文章にするのに苦労してきました。「広報担当」の辞令を受けた時、自分に広報誌づくりができるか不安のスタートでした。今回、記念すべき五〇〇号と発行ということで、二年八ヶ月と短い間ではありましたが中継ぎでやれたことが今では誇りに思えます。町村合併が叫ばれる中、高森の歴史や出来事が凝縮された広報誌を今後も楽しみにしていきたいと思っています。



左上から創刊号・100号・200号・300号、左下から400号、A4版第1号、デザイン変更号2部

難しさと楽しさいっぱいの広報誌づくり
 岩 下 公 治（現固定資産税係長）
 （広報たかもり担当 平成6年4月1日～平成9年3月31日担当）
 私の担当期間の間、それまでの広報誌担当者の悲願であった「表紙カラー化」と「A4判化」そして、省力化と費用削減を目的としてコンピューターで原稿を作成する「DTP」にも取り組みました。本町には毎月の誌面に入りきれないほどにソフト面とハード面、そして人的、物的にも素晴らしい素材がたくさんあります。また、家庭教育の大切さをうったえ、みんなで認め合い、誇り合う中から明るいまちづくりにつなげたいと、「掘り起こし」に私なりに取り組んだつもりではありましたが、すればするほどに難しく個人的にも負担が増大しました。しかしながら、取材での町民の皆様とのふれあいなどでやりがいと楽しさも感じる有意義な3年間でありました。「広報たかもり」の今後益々の発展を祈ります。

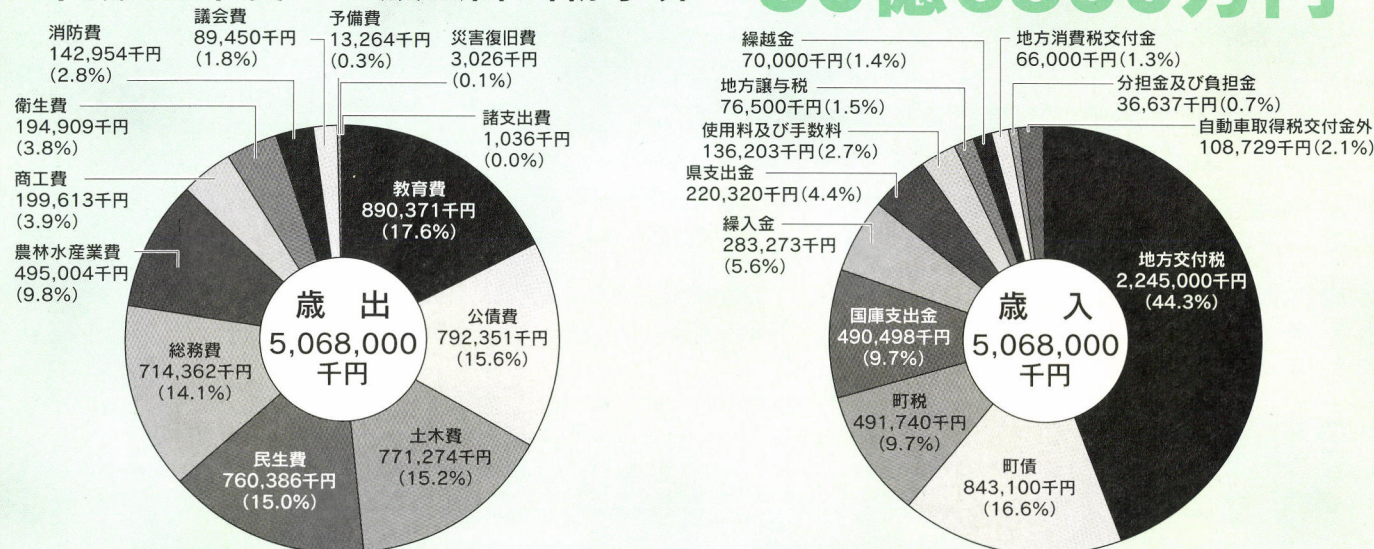
広報誌づくりの思い出
 後 藤 秀 希（現住民生活課長）
 （広報たかもり担当 昭和58年8月10日～昭和62年7月31日担当）
 私が広報統計係をしていた昭和六十一年頃は、オフセット（平版）印刷も普及していましたが、「広報たかもり」はB五版の活版黒刷り。今のようA四版のカラー印刷など思いもよらなかった。そして写真は当然白黒。カラー写真が主流の時代になっていまだから、撮影したフィルムを現像し、印画紙に焼き付けるといった作業も当然自分で行わなければなりません。現像液は二十度という原則があるため、夏と冬は大変な作業です。冬はストープで温度を上げることが割と容易でしたが、夏は大変な作業です。氷で現像液を冷ますものの、暗室の中は、締め切っているため三十度を超える室温になり、汗をかきながらの作業が平日ほど続きます。
 現在は、コンピュータを活用した広報誌が届けられており目で楽しませてくれるカラフルな誌面を見ると、時々昔の作業を思い出します。

本年度予算の概要

本年度予算は3月8日から3月16日まで開かれた町議会
平成13年第1回定例会で審議され可決されました。

平成13年度 一般会計当初予算

50億6800万円



本年度の予算編成は、町税収入と地方交付税が伸びず厳しい状況にあることにより、必要な財源確保のため経費の節約と合理化及び、町総合計画、過疎自立促進計画を基本に、真に必要とされる施策を推進するほか、経済対策としての事業量を確保した質的にも充実した予算編成を行いました。(対前年度当初比10.5%増)

■議会費関係 □議会運営に必要な経費を計上。
■総務費関係 □財務会計システム導入及び指定金融機関の指定による確実かつ効率的な事務事業推進の費用。□地域住民を主体的に捉え住民に愛されるわかりやすい広報紙づくり。□阿蘇地域振興デザインセンターへの出資。□市街地を中心とした土地利用計画の推進と基礎調査。□住民参加の中心市街地活性化基本計画の策定。□町民一人ひとりの交通安全思想の高揚を目指し、交通安全教育を推進。□住民基本台帳ネットワークシステムの確立。□統計調査は事業所・企業統計調査などの四調査の経費を計上。□選挙費は参議院議員総選挙の費用を計上。□地籍調査は津留地区の一部三、八五K㎡を実施。

■民生費関係 □障害者福祉計画の策定。□やさしいまちづくり推進のため各種イベントへのボランティア参加、各種教室の開設を行い「やさしいまちづくりの心」をもてる取り組みの実施。□人権啓発事業の促進。□介護保険特別会計への繰り出しにより介護を社会全体で支え、利用者の希望を尊重した総合的なサービスの確立。また、制度から外れた在宅老人を対象とした介護予防、生活支援等の実施。

■衛生費関係 □機能訓練教室、痴呆回復教室、地域学習会などの実施による住民の健康管理の助け。□不法投棄監視員を設

置し、廃棄物の不法投棄防止の住民啓発、きれいなまちづくり推進。□町内全域への合併処理浄化槽設置整備事業推進。

■農林水産業費関係 □地域農業の担い手など規模拡大志向農家との労働提供、農地の貸借等において役割分担を図り、地域複合農業の展開。□農業経営の改善による優秀な経営育成。□たい肥センターの建設。□認定農業者や認定志向農業者などの就業環境支援整備の推進。□農家台帳データ入力による情報の整備。□女性農業者への支援強化。□農道整備を実施。□水土保全緊急間伐実施事業や流域総合整備事業の活用、間伐材促進対策事業、高齢級間伐促進事業による事業効果の推進。

■商工費関係 □商工業の安定発展、近代化、活性化のため、国・県の制度資金、町小口資金の有効利用の促進。□湧水トンネル公園の駐車場、トイレ等の整備。□「はなしのぶコンサート」「風鎮祭」「新酒とふるさとの味まつり」「高森峠桜まつり」など、町民共同参画型のイベントを展開。

■土木費関係 □美化側溝を中心とした生活環境等の整備や、舗装補修及び歩道改修を図り「やさしい町づくり」を推進。□町道各路線の整備を計画的に実施し、五割助成による部落道舗装を推進。□住環境では事業計画に基づき、下町A団地第一期建替工事並びに駅前団地第二期

工事を実施。

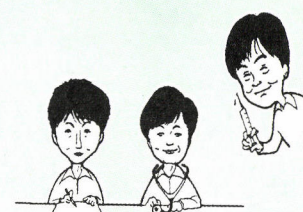
■消防費関係 □住民の防災意識の高揚と啓発を進める。□消防団活動に必要な用具整備。

■教育費関係 □学校事務用パソコン導入。□高森中学校校舎改築の経費を計上。□高齢者学級や南阿蘇セミナーなど生涯学習の時代に住民の学習要求に対応。□社会教育団体の中核「高森町連合婦人会」の三〇周年活動の支援。□「青少年育成町民会議」を中心に子ども会育成や囲碁教室、子ども議会の実施。□人権学習の推進については、啓発活動を積極的に取り組むとともに、対象地域内の学習内容を充実強化。□国際化事業は、カリスベル市への「中学生・高校生派遣事業」を通じ交流を深め、国際化時代ふさわしい人材育成。□情報通信技術の発展、普及による住民を対象としたIT講習会の実施。□「全国高校総体」(平成十三年八月実施)の費用を計上。

■災害復旧費 □公共土木、農林水産業関係の災害時を想定し設計委託料等を計上。

■公債費 当年度予算の中で公債費の占める割合が一五、六%となっていますが、今後とも財政状況を見極めながら健全財政運営に努めます。

保健婦から



あなたへの健康講座

「ひきこもり」ってどんなもの？

みなさん、こんにちは。すっかり春らしくなりましたね。春といえば、就学・就職など新しい門出のシーズンでもありますね。みなさんは、どんな門出を迎えますか？

最近、新しい門出を迎えられず家の中にじっとしている若者が増えてきていると言われています。この人達は「社会的引きこもり」と言われています。今回は、この「ひきこもり」について少しお話し

してみたいと思います。近年、マスコミなどで引きこもりについて大きく報道されることありますが、どういうものが引きこもりであるのか、はっきり分かっているのが現状なのです。引きこもりといわれるものには、大きく分けて3つあり、①精神的疾患からくる引きこもり②先天的にもった障害からくる引きこもり③心の働きからくる引きこもりがあります。ここでいう、「社会的引きこもり」とは③のことをさします。心の働きから来る引きこもりとはいったいどういう状態なのでしょう？

引きこもる人達の心理状態として、「全か無か」といったような極端な意識の中に生活しているために、少しでも自分の心の準備していたものと違ったことがおこると混乱してしまい、それ以降に起こることに對して不安と恐怖が意識の中に広がってどうにもならなくなってしまうのです。その恐怖から逃げるために空想の世界・自分だけの世界を作ってしまう。そこから引きこもりは始まるといわれています。人は誰しも生活していく中で様々な障害にぶつかりますが、その都度うまく

対応して何とか乗りきろうとします。しかし、引きこもりの心理状態として、そういったように自分のなかでうまく対応できないために人間関係をうまく築くことが出来ません。このことも引きこもりを起す要因に共通する部分だと言われています。

「引きこもり」の事例は千差万別であり、援助の方法も様々です。中学生までは義務教育のために目が届きやすいのですが、高校生以上になるとそうはいかなくなります。そういった社会の目に届きにくい人達がなにか事件を起こすとその部分だけが大きく報道され、その家族の精神的苦痛は、計り知れないものがあるでしょう。そういったことを未然に防ぎ、「ひきこもり」に悩んでいる本人や家族のために県ではサポートをしています。

熊本県精神保健福祉センターでは、社会的ひきこもりのための相談・家族教室・診察・グループミーティングなどを行っています。気軽に相談ください。

連絡先 熊本県精神保健福祉センター
TEL 096・369・6401

高森温泉館 二六の日 演芸会(チンドンヤ)等で賑わう

二月二十六日は高森温泉館恒例の風呂の日。今回は地元特産品が当たる抽選会、そして職員手作りのあたたかい甘酒を竹のコップに入れての無料サービス。「おいしい」と大好評、一人で何杯もお代わりする人も続出しました。又、大休憩室では高千穂町より、素人演芸(神のおたふくチンドンヤ)来館、平均年齢七十五才、最高年齢何と九十一才のみなさん、高齢者とは思えぬ元気なおどり



「おいしい、おいしい」 手作り甘酒の振る舞い



宮崎の放送局からの取材もありました。



平均年齢75才「おたふくチンドンヤ」のご一行

に見入り、そしてユーモアたっぷりのチンドンヤの、圧倒されるすばらしい舞に誰もが大満足顔でした。



高森警察署だより

Takamori Police Station

「熊本県警察職員募集」のお知らせ

熊本県では、次の要領で警察職員採用試験を行います。

職種・区分	警察官 A (男性・女性・武道指導)	警察官 B (男性・女性・武道指導)	警察行政	警察事務
受付期間	5.7(月)～6.1(金)	8.15(水)～8.31(金)	5.7(月)～5.25(金)	8.15(水)～8.31(金)
試験日	7月8日(日)	10月7日(日)	6月24日(日)	9月23日(日)
試験地	熊本市	熊本市・八代市・本渡市	熊本市・東京都	熊本市・八代市・本渡市
受験資格	s46.4.2～s55.4.1 生で4年制大学卒業 (見込)の方 武道指導については 上記に加え柔道3段 以上又は剣道3段以 上の段位を取得して いる方。	s49.4.2～s59.4.1 生で警察官Aの受験 資格のない方 武道指導については 上記に加え柔道2段 以上又は剣道2段以 上の段位を取得して いる方。	s45.4.2～s55.4.1 生の方 (学歴・性別は問いま せん。)	s55.4.2～s59.4.1 生の方 (学歴・性別は問いま せん。)
採用人員	4月下旬決定	7月上旬決定	4月下旬決定	7月上旬決定

※試験案内、受験申込書の請求など、詳しい内容のお問い合わせは・・・

〒862-8610

熊本市水前寺6丁目18番1号

熊本県警察本部警務課 TEL096-381-0110 (内線2643)

熊本県人事委員会事務局 TEL096-383-1111 (内線6834)

※ 警察官A・B (男性) は、本県以外の7都府県 (警視庁、愛知、滋賀、京都、大阪、兵庫、福岡) が同時に受験できます。

※ 警察官B (武道指導) 第一次試験の試験地は熊本会場のみとなります。



「峰の宿ばんば踊り」は約二〇〇年前に日向・高千穂・椎葉方面から伝えられたといわれています。現在は峰の宿部落では人手不足から草部北部全体で保存が行われています。

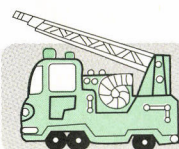
阿蘇の火まつり「阿蘇ぶるまい」に「峰の宿ばんば」が出演
三月三日(土)、阿蘇町総合センターで行われた、阿蘇の火まつりのオープニングを飾る「阿蘇ぶるまい」に県指定無形民俗文化財の「峰の宿ばんば踊り」(草部北部交友会/二子石富士夫会長)が出演し、子どもからお年寄りまで約五十名の息のあった見事な踊りに、観客から大きな拍手を受けていました。

たがもり出身の皆様へ

広報たがもり からのお願い

■転居のときは連絡ください
広報たがもりが宛先不明で返送されることがしばしばあります。住所、氏名の変更など、早めにお知らせください。
■ふるさとへの熱い想い
お寄せください
ふるさとへの想いや近況報告、たがもりの発展に役立つお住まいの街の紹介などをお寄せください。本誌で紹介いたします。
■広報郵送料のご協力をお願いします
本誌は毎月三千三百部を印刷し、町内配布と共に北海道から沖縄までのたがもり出身の皆様にもお送りして「ふるさとの便り」としてご愛読いただいています。
皆様方のご協力により、昨年度は十一万三千円、本年度も既に二十三万円を超えるご寄付をいただき、誠にありがとうございます。(寄付いただいた方はお名前を紹介) 本誌は郵送の場合、一ヶ月に百四十円かかります。(広報誌代は別) 引き続き、現金(小為替など)や、九十円以下の少額切手で一年分程度のご寄付を毎年お願い申し上げます。

■〒869-1602 熊本県阿蘇郡高森町大字高森2168 高森町役場 広報たがもり 電話09676-2-1111 (担当 田上)



消防なんでも南部分署

阿蘇広域行政事務組合消防本部
南部分署 電話 2-9034

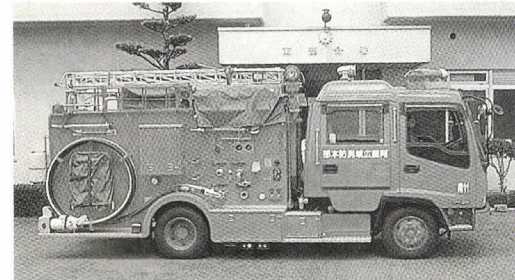
防ごう山火事 春は火災多発期

林野火災の原因の中で火入れ時の火が毎年トップを占めています。火入れ時の火の取り扱いには十分注意して下さい。また、春先は空気が非常に乾燥し、火災の発生しやすい季節です。万に備え消火器や水バケツを準備しておきましょう。



水槽付消防ポンプ車の配備

このたび、新型の水槽付消防ポンプ車が南部分署に配備されました。最新の装備を備えた車両は災害現場で効果的な活動が期待できます。



車両型式

- ①車名 イスズ自動車
- ②乗車定員 6名
- ③最大積載 1500kg
- ④長さ 660cm
- ⑤幅 230cm
- ⑥高さ 285cm
- ⑦車両重量 6160kg
- ⑧車両総重量 7990kg
- ⑨総排気量 8266cc

車両型式

- ①ハロゲン式投光器
- ②固定式放水銃
- ③自動噴霧弁
- ④自動噴霧ノズル
- ⑤水タンク(1500L)
- ⑥ホース背負い器(車輪付)
- ⑦ホースカー(加納式)

危険物取扱者試験案内

消防法第13条の5第1項の規定により、熊本県知事から委任された財団法人消防試験研究センターで危険物取扱者試験が次のとおり実施されます。

■試験の種類 甲種・乙種第1類～第6類・丙種

※受験は1種類1種目に限ります。(但し、乙種と甲種、丙種の併願は可)

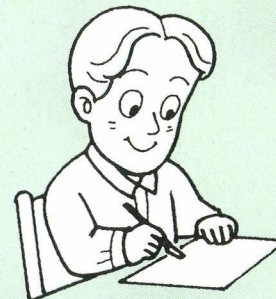
■試験の期日及び場所 6月17日(日) 熊本市・八代市

(会場は受験票に明示されます。)

■受験願書の受付期間 平成13年4月23日(月)～4月26日(木)まで

■願書の配布・問い合わせは

受験案内及び願書は受付開始約10日前に阿蘇広域行政組合消防本部・分署・分駐所に配布します。その他不明な点は、消防本部予防係へ問い合わせください。 TEL 0967-34-0024



栄養士の

いただきます

あなたの食生活大丈夫?

最近、すぐにキレたり、なんとなく体調がすぐれないなど、日常的に心や体の不調を感じている人が増えているそうです。その原因のひとつに乱れた食生活の影響があるといわれています。食は健康の基本。自分の食生活を改めて見直してみましょう。

～心と栄養と体～

心は心臓にあるのではなく脳に存在しています。そこで心がイキイキするためには、脳が活発に働くために十分な栄養(特にブドウ糖)を補給する必要があります。摂取量が不足すると、気分が落ち込んだり、不安になったり、勉強や仕事の集中力が欠けるなどの様々な影響が現れると言われています。そこで、必要とするたくさんの種類の栄養を体にとり入れるために、できるだけ多くの種類の食品を摂ることが大切です。

食生活で気を付けることは・・・

食事を一食だけで考えず、三食あわせた場合で考えて、足りない食品があれば、ほかの食事のときに意識的に補うようにします。

また、楽しい雰囲気の中で食べれば、いっそう食事がいっしくなり心の栄養もアップします。

残りご飯のチーズせんべい ～よい歯のおやつレシピ～

□材料 (一人分)

残りご飯50g、ピザ用チーズ10g、ちりめんじゃこ2.5g、青のり0.5g、桜えび2.5g、

□作り方

①ご飯とチーズを混ぜて2等分する。②

①の一つにちりめんじゃこ、もう一つに桜えびを混ぜ合わせる。

③②をラップに包み丸く押し広げる。④テフロン加工のフライパンで両面を焼く。⑤ちりめんじゃこの方に青のりを振りかけて仕上げる。



横町 食生活改善推進委員
後藤美恵子さん・津留五月さんの作